



ふうの木のある学校からⅡ

高鍋町立高鍋西小学校 学校だより 6月号 文責 校長

子どものころ、一番のお気に入り
だったものは何？

と、問われて皆さんは何と答えますか？

「自分の祖父母のなれそめは？

両親は若い頃にどんな病気にかかった？

こうした家族の歴史をよく知る子供は、人生をよりうまく歩めるようになるという研究結果がある。～『人生の物語』は、それを聞く人に生きる勇気を与える。～『自分は何者なのか』という根源的な問いを、人はずっと心に抱えている。親が語る「人生の物語」は、親にとっても子にとっても、その問いの答えを得て充足するためのヒントとなる」

<5月23日 宮日新聞「ことば巡礼」抜粋>

難しそうな文ですが、

「大人がこれまでの経験を語ることで、
子も何らかの生きるヒントを得る」

と、私は解釈しました。

そういえば、学級担任をしていた頃、自分の幼少期の遊びのことや、失敗した話をしてみると、授業以上に集中して耳を傾けていました。

それで済めばいいのですが、その話が保護者の方にも伝わり、

「先生も、けっこう〇〇だったんですね？」とあちこちで言われることもありました。

社会人になった子どもたちからは、

「先生のあの話は今でも覚えちよるよ。先生との距離が縮まった気がする。」

と言われたことも記憶に新しいところです。

今なら不適切だと言われるかもしれません。

昔は、みんな子どもでした。遊び・勉強・恋愛・部活動・目指していたこと・失敗したこと等々、「実はね？」

と語ってみてはどうでしょう？

「ありがとう」の対義語は？

先月の全校集会で、子どもたちに投げかけた問題です。

答えは教えず、どれくらい調べてくるかな？と期待して校長室窓にも掲示したところです。

高学年の子どもたちが、

「お父さんが『当たり前』だと教えてくれた」

「タブレットで調べた」

と言って、廊下を通り過ぎます。

低学年の子どもたちは、私を呼んで、

「『どういたしまして』じゃなあい？だって、『ありがとう』って言われたら『どういたしまして』って言うわあ」

と、答え合わせをしようとしています。

自分（たち）で考え、聞いたり調べたりしながら答えを探す過程を楽しんでほしい、という意図をもって、こんな問いかけを仕組んでいます。

今は、

「お茶わん一杯に入っている米粒は、
およそ何粒でしょう？」です。

①200 ②400 ③1000

④1300 ⑤4000 ⑥10000

宮日新聞「くろしお」に掲載されていたネタです。

「1本の稲穂には、およそ何粒のお米が
実るでしょう？」というのがあります。

①10 ②50 ③100

④500 ⑤1000

まだまだ高いお米の値段ですが、生産される方々のことも考えられるといいですね。

梅雨入りしましたが・・・

5月中旬に九州南部、下旬に沖縄地方が梅雨入りしました。

あのムシムシ、ジトジトした季節がやってくるとすると、様々な心配が出てきます。

- ① 校舎内でけがをしないか？
- ② 校舎の雨漏り（しそうな）箇所は？
- ③ エアコンが効果を発揮するか？
- ④ 登下校で心配な箇所はないか？
- ⑤ 大雨警報が出た時はどうするか？
- ⑥ 学校の木々に毛虫等がついてないか？
- ⑦ 熱中症対策は？

気温・湿度だけが高く、あんまり雨が降らないのもどうかな？と感じているところです。

それぞれに事前対策を講じ、保護者・地域の皆さんに、緊急避難や送迎等をお願いすることも想定しています。

名前の由来

夢がかなうこと、友達がたくさんできること、健やかに成長すること等、子どもさんには様々な願いや思いを文字に込めて、命名されたかと思います。

以前は、子どもたちが「名前の由来」を家族に聞いたり、漢字の意味を調べたりしていましたが、プライバシーの観点から、学習の材料としては扱いにくくなってきているのが現状です。

年度当初に「5年後・10年後を想像する」ことについて話をしましたが、まさに名前にこそ将来こうあってほしいという、保護者の皆さんのイメージが働いているのではないかと思います。

誕生日等の節目に、ご家庭で話してみるといいかもしれないですね。

命とは？

NHK スペシャル「人体Ⅲ」はご覧になりましたか？ このシリーズを初めて視聴したのは、ちょうど私の長女が誕生した年だったように記憶しています。

人体の中をコンピュータグラフィックで紹介する内容でした。

人の誕生、食べ物の消化、考えたり、運動したりするための脳や細胞の動き、けがや病気が治る過程等です。

こんな映像で学んでいたら、もう少し理科が好きになっていたかもと感じました。

もちろん、録画された映像を使って、理科だけでなく、体育（保健）や学級活動等の授業でも活用したことを覚えています。

今回で最終回でしたが、科学や医学は進んでいるけど、「まだ命の1割も解明できていない」という言葉には衝撃を受けました。

参観ありがとうございます

6月20日（金）、授業参観、懇談への参加、ありがとうございました。

新年度になって、約3か月。

子どもたちは、学びの構えが少しずつ定着し、学習内容を習得しながら、それを活用する楽しさも味わえるようになってきています。

7月には個別面談を計画しています。

子どもさんの成長と今後の目標を共有できる大切な機会と考えています。

なお、冷房施設の調子が、稼働テスト当初から今ひとつの状態、町教育委員会に連絡して部品の交換・整備等も予定している最中でした。

特に5・6年生が入っている棟が冷えにくいのですが、整備しても不調の場合は、教室の移動等も考えているところです。

現状を今しばらく、ご理解ください。